

# 令和7年度 府中市立四谷小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

## 第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	①ひらがな・カタカナの違いを意識しつつ、促音・拗音等の表記を正確にしながら、段落を意識して文章を書くこと。（はじめ、中、おわり） ②自分の考えや感想をもったうえで、友達の考えを尊重し、お互いの意見を交流すること。 ③会話文の書き方等、原稿用紙の使い方や表記の間違いに自分で気付くこと。	①文章を書いたときに校正し、正確な表記を確認する。また、段落ごとに何を書くのか分かりやすく示し、一段落ずつ確認をする。【表現】 ②短くとも自分の意見を書く習慣を付けさせ、ペアやグループ学習で友達の意見を聞き、交流する中で様々な意見に触れさせる。【対話】 ③原稿用紙の使い方をプリントで示したり、書く練習をしたりして、表記の基礎を身に付けさせる。【表現】	B	
算数	①数の概念や数量の感覚について理解すること。 ②図形について、特徴を捉えたり弁別したりすること。 ③加法・減法について問題場면을把握し、正確に計算すること。	①②具体的操作を多く取り入れたり、数や図形を多角的に見たりする活動を取り入れたりすることで、数や図形の概念を理解できるようにする。【発見・対話】 ③具体物操作から、絵、図、式を相互的に関連づけ、問題のイメージをもてるようにする。【表現】	B	
生活	①人や自然と関わる経験の積み重ねや自らすすんで関わろうとすること。 ②人や自然と関わる活動の中で体験し学んだことを、自分の生活にも取り入れようとする。こと。 ③観察などの視点をもって記録し、違いや特徴を見付けること。	①人や自然との関りの場を意図的に設定することで、児童の内発的動機付けに働きかけるようにする。【発見】 ②学びのふりかえりをし、友達と意見を交流することで、実生活に生かせるようにする。【対話】 ③観察の観点を明確にし、比較できる良さを感じられるようにする。【表現】	B	
音楽	①曲のよさや演奏の楽しさを見出しながら、演奏したり、聞いたりできるようにすること。 ②音楽表現をするための楽器および歌唱の技能を身に付けること。	①曲を聞いて感じたことを言葉にしたり、体で表現したりしながら、曲のよさを感じとる活動の場を意図的に取り入れる。【発見】 ②友達の演奏に耳を傾け友達の演奏のよさを言葉にしたり、自分の演奏と友達の演奏を比較したりして、演奏の仕方を工夫していけるような場を設定する。【対話】 ③鍵盤ハーモニカの演奏の際、音階や指使い、タンギングなどを丁寧に繰り返し指導する。個々の必要に応じて、発展的な演奏に取り組ませたり、スモールステップで個別指導を取り入れたりして、個別最適な活動の充実を図る。【決定】	B	
図画工作	①はさみ・のり・カッターの使い方、紙を折るなど、指先を使った作業をすること。	①日常から、指先を使った作業を繰り返し取り入れる。また操作の手順を分かりやすく提示したり、道具の使い方を実際に見せたりすることで、基本的な技能を身に付けさせられるようにする。【発見・表現】	B	
体育	①運動の仕方を理解し、基本的な技能を身に付けること。 ②自分にあった運動の課題やめあてをもち、運動方法を正しく選択すること。	①ICT機器を有効に活用し、映像でお手本の動きや運動のコツを視聴し、体の動かし方のイメージをつかみやすくする。【発見】 ②段階的に技能を習得できる場を設け、児童が自分に合った運動を選択できるようにする。【決定】	B	

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。